

織田信長ゆかりの本能寺で初の本格的な信長コレクション開催

大信長展

～信長とその一族・家臣・ライバルたち～

厳選された戦国大名ゆかりの歴史的史料、ここに集結！

「今回展示される史料の多くが学界未紹介であるため、一点一点が今後様々な研究に寄与するところが大きいからである。(中略)——率直に申して「まだこれほどすごい史料が眠っていたのか」と驚きを禁じ得なかった。こうなると日の目を見ずに埋もれている文書がまだほかにもあるであろうことが想像され、もとよりそうするほか仕方のないことではあるのだが、知られている史料だけから歴史を研究することの恐ろしさに身震いをおぼえずにはいられなかった」

「大信長展」監修：東京大学史料編纂所准教授 金子 拓

一般財団法人太陽コレクション(代表理事・山中泰久)が所蔵する古文書・書画コレクション約280点の中から、織田信長に関係するものを中心に厳選された60点を展示公開する「大信長展～信長とその一族・家臣・ライバルたち～」を開催します。展示品は、織田信長本人はもとより、その一族、家臣たち、信長没後天下人となった豊臣秀吉や徳川家康、さらに信長のライバル大名たちの古文書や肖像画のほか、信長の時代に隆盛を極めた茶の湯の道具の優品によって構成されています。



戦国織豊・江戸時代の政治・文化史研究にも貢献！

展示品の中には、これまでまったく知られていなかった貴重な文書や、現在写真や写本でしか確認できなくなっていた古文書・肖像画の原本などが多数含まれ、今回の展覧会によって、信長とその一族・家臣・ライバル大名たちの姿がいつそう鮮明となり、これを契機として、今後彼らの研究がより一層進むことが期待されます。たとえば、貴重な史料のひとつとして、本能寺の変の8日後に記された信長重臣・柴田勝家の書状。これは、勝家が隣国若狭の丹羽長秀と力・栗屋氏(もしくは長秀本人)に対し、越中攻めの結果を報じ、今後の行動について相談した書状であるといえます。



柴田勝家書状

織田信長とゆかり深い、本能寺境内の宝物館にて開催される初の本格的な信長コレクション。大河ドラマの世界を連想させるような名高い戦国武将たちの資料が一堂に会します。この貴重な機会に、ぜひご来場・ご取材くださいますようご検討よろしくお願い申し上げます。

- 開催日時：平成28年4月29日(金)～8月31日(木) 会期中無休 9時～17時(最終入館16時30分)
- 開催場所：本能寺大寶殿宝物館
〒604-8091 京都市中京区寺町通御池下ル本能寺前522(地下鉄東西線「京都市役所前駅」すぐ)
- 入館料：一般700円／ホテル本能寺利用者300円／中高生500円／小学生・修学旅行生300円／身障者300円
- 駐車場 ※30名以上団体割引あり
：30分200円(駐車台数20台／高さ2.7m以下)
- 主催：法華宗大本山 本願寺・一般財団法人太陽コレクション

【メディア取材・各種お問い合わせは】

担当：本能寺 TEL 075-231-5335 FAX 075-211-2838